

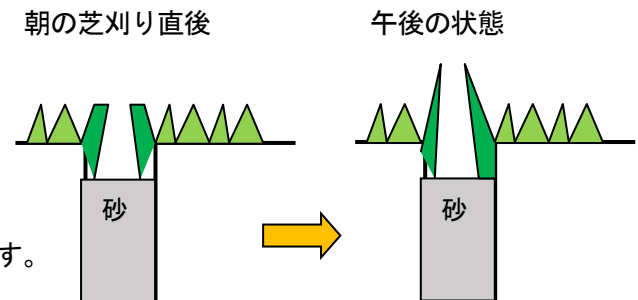
春の穴あけと パッティングクオリティ

春になって、ベントグラスの 生長が旺盛になりすぎてボールスピードが低下するとの話はよく聞きます。この原因は様々ですが、安易にチッソ肥料を少なくしていませんか？チッソで調整する方法もありますが、減らしすぎて夏越しに体力がない芝になることもあります。今回はコアリング後の砂入れとパッティングクオリティについて考えてみます。

1. コアリングは 穴あけより砂の充填

右図は砂の充填が悪い場合をあらわしています。砂が十分に入っていないので穴の中から芝が発生し穴の場所だけ刈り高が高くなるので生長が旺盛になります。

コアリング跡の、穴の部分だけ葉色が濃くなるのはこれが原因です。部分的に旺盛になるとボールには抵抗となるのでパッティングクオリティが悪くなります。



2. コアリング時の砂の最低必要量

理想的には、穴の上まで砂を充填する必要がありますが、現実には少ないコースが多いと思います。㎡当たりの目砂量の計算方法は、下記の方法で求められます。

$$\text{砂の必要量 (L)} = \text{コア穴の表面積割合 (\%)} \times \text{穴の深さ (cm)} \times 0.1$$

計算例

700㎡のグリーンに10mmのタインで縦横ピッチが5cm、深さ7cmの場合

・1㎡の砂必要量

$$3.1\% \times 7\text{cm} \times 0.1 = 2.17\text{L}$$

・700㎡の砂必要量

$$2.17 \times 700 = 1,519\text{立米}$$

タインと穴の表面積割合

タインの径mm	穴の表面積 %
10	3.1
12	4.5
16	8.0
19	11.3

(穴のピッチが縦50mm、横50mmの場合)

3. ボールスピードを意識した春のチッソ肥料

- ・緩効性の液肥・・・VITASローN(29-0-0) チッソの50%がメチレン尿素
- ・粒状肥料・・・マイクロパワー5号(5-5-5) 少チッソ散布が可能、有機態チッソ3%

芝草漫遊記

春の穴あけ時期は、早いコースや遅いコースもあり色々流儀があります。気温の関係もありますが、私の経験では早い方が芝の立ち上がりも早くなるように思います。あるキーパーはコアリングによって生育のスイッチが入るとの話もあります。3月になるとコース管理も仕事のスイッチが入る時期になりますが、近年は春の気温の高低差が激しく、早すぎる更新作業には注意が必要です。